

# 安全データシート

製品名: マグナ 777  
更新日: 2019-02-20  
製品番号:

ページ: 1/11  
最終改訂日: 2023-02-17  
SDS-ID: GB-EN/8.0

## 第1章: 製品及び会社情報

### 1.1. 製品情報

商品名: マグナ777  
容器サイズ: 2kg & 4kg

### 1.2. 物質または混合物に関連する用途

用途: 手溶接被覆電気棒

### 1.3. 安全データシートの提供者の詳細

供給者: EU輸入者

### 製造者

ITW PP & F Korea Limited.  
13th Fl., Unit B, PAX Tower 609 Eonju-ro, Gangnam-gu  
Seoul, Korea 06108  
Tel: +82-2-2088-3560 Fax: +82-2-513-

[www.magnagroup.com](http://www.magnagroup.com)

詳しい情報は以下から入手できます:

[magna@magnagroup.com](mailto:magna@magnagroup.com)

安全データ-の担当著者

[SDS\\_info@dhigroup.com](mailto:SDS_info@dhigroup.com)

### 日本国内 輸入元

株式会社エクシード  
テクニカルカスタマーセンター:  
TEL: 046-286-5855 FAX: 046-286-5857  
神奈川県愛甲郡愛川町中津3503-8番地

### 1.4. 緊急時の電話番号

緊急時は救命センターの緊急番号で医師/救命士を呼んでください。

## 第2章: 危険有害性の確認【GHS分類(化審法、安衛法)】

### 2.1. 物質または混合物の分類

#### CLP:

製品の分類:  
皮膚感作性 カテゴリ-1; H317  
発がん性 カテゴリ-2; H351  
特定標的臓器毒性(反復暴露) カテゴリ-1; H372

### 2.2. ラベル要素

溶接電極は製品と見なされるため、現在のラベル付け要件から免除されています。

固体金属および合金は、市場に出される形態では人間の健康や環境に危険を及ぼさない場合、危険ラベルを必要としません。ラベルに記載される情報は以下の通りです。



危険

# 安全データシート

製品名: マグナ777  
更新日: 2019-02-20  
製品番号:

ページ: 2/11  
最終改訂日: 2023-02-17  
SDS-ID: GB-EN/8.0

<b>含有物</b>	ニッケル
H317	皮膚にアレルギー反応を引き起こす可能性があります。
H351	発がんの疑いがあります。
H372a	吸入すると、長期間または繰り返しの暴露によって臓器に損傷を与える可能性があります。
P201	使用前に特別な指示を取得してください。
P260	ヒュームを吸入しないでください。
P280	目の保護具と手袋を着用してください。
P302 + P352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗浄してください。
P308 + P313	暴露または懸念がある場合: 医師の診察/治療を受けてください。
P405	施錠して保管してください。
P501	内容物/容器は地方規制に従って廃棄してください。

## 2.3. その他の危険有害性

**PBT/vPvB** この製品にはPBTまたはvPvB物質は含まれていません。

**その他** 融点を超える加熱によって金属酸化物が放出され、吸入すると金属煙熱を引き起こす可能性があります。症状は震え、発熱、不快感、および筋肉痛です。

## 第3章: 組成・成分情報【PRTR法(化管法)分類】

### 3.2. 混合物

製品には金属とフィラーが含まれています。

閾値を超える分類された物質または曝露限界が設定されている物質のみが表示されています。

製品に含まれるすべての物質は、REACHに基づいて登録されているか、登録が免除されています。

CLP:

%	CAS-NO.:	EC-NO.:	REACH規則NO.:	化学名:	危険有害性の分類:	注意事項:
30-60	7439-89-6	231-096-4	01-2119462838-2 4-XXXX	鉄	-	#
15-40	7440-02-0	232-111-4	01-2119438727-2 9-XXXX	ニッケル	発がん性 カテゴリー2; H351 特定標的臓器毒性(反復暴露) カテゴリー1; H372 皮膚感作性 カテゴリー1; H317	S:7

# 安全データシート

製品名: マグナ777  
更新日: 2019-02-20  
製品番号:

ページ: 3/11  
最終改訂日: 2023-02-17  
SDS-ID: GB-EN/8.0

5-10	513-77-9	208-167-3	01-2119489177-2 5-XXXX	炭酸バリウム	急性毒性カテ ゴリー4: H302
5-10	1317-65-3	215-279-6	-	石灰石	- #
3-7	7789-75-5	232-188-7	17-2119399297-2 0	フッ化カルシウム	- #
1-5	7782-42-5	231-955-3	01-2119486977-1 2-XXXX	黒鉛	- #
0.5-1.5	1302-78-9	215-108-5	-	ベントナイト	-

備考:

# : 物質は露出制限を指定されています。

S: ラベルが不要場合があります。

7: ニッケルを含む合金は、放出率が $0.5 \mu\text{g Ni}/\text{cm}^2/\text{週}$  (EN 1811)を超えた場合、皮膚感作性として分類されます。

参照:

すべての危険性声明の全文はセクション16に表示されます。

## 第4章: 応急処置

### 4.1. 応急処置の説明

溶接時: どんなに小さな火傷でも、全て医療機関での治療を受けるべきです。

#### 吸入した

溶接ヒュームを吸引した場合: 新鮮な空気がある場所に移動し、安静にしてください。喉の刺激や咳が持続する場合は、医師の診察を受け、指示に従ってください。

#### 皮膚接触

汚染された衣服を脱ぎ、水で皮膚を十分に洗い流してください。材料が熱い場合は、熱傷の治療を行い、直ちに医療機関を受診してください。

#### 目に入った場合

目をこすらず、すぐに大量の水で少なくとも15分間洗い流してください。コンタクトレンズが入っている場合は取り除き、まぶたを広げて洗い流してください。刺激が続く場合は、医療機関を受診し、この指示書を持参してください。

#### 誤飲

製品の形状から考えて、誤飲の可能性は低いです。

### 4.2. 急性及び遅発性の最も重要な症状及び影響

#### 症状・影響

健康への影響や症状の詳細については、セクション11を参照してください。

### 4.3. 即時の治療と処置の必要性

#### 医療注意/治療

症状に応じて治療してください。

# 安全データシート

製品名: マグナ777  
更新日: 2019-02-20  
製品番号:

ページ: 4/11  
最終改訂日: 2023-02-17  
SDS-ID: GB-EN/8.0

## 第5章: 火災時の処置

### 5.1. 消火剤

**消火剤** 周囲の材料に適した消火剤を使用する。

### 5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

**特有の危険有害性** 火災時、健康に有害なガスが発生することがある。

### 5.3. 消防士へのアドバイス

**消防士用保護具** 消火活動のための呼吸保護の選択: 職場に表示されている一般的な火災予防措置に従うこと。

## 第6章: 漏出時の措置

### 6.1. 個人的な注意事項、保護具、緊急時の対応について

#### 個人的な注意事項

この安全データシートに記載されている安全な取り扱いのための注意事項に従ってください。

### 6.2. 環境に関する注意事項

#### 環境関連

本製品は自然界に投棄せず、回収・運搬すること。自治体との取り決めに従って回収する。

### 6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材 浄化の方法

容器に収集し、しっかりと密封する。

### 6.4. 他のセクションへの参照

#### 参考文献

個人用保護具については、第8項を参照。  
廃棄物処理については、第13項を参照してください。

## 第7節: 取り扱いおよび保管上の注意

### 7.1. 安全な取り扱いのための注意事項

**安全な取り扱い方法** 溶接時: 煙を吸い込まないでください。良好な化学物質衛生管理を実践してください。

**技術的な対策** 特に注意することはありません。

**技術的な注意事項** 溶接時: 機械的換気が必要となる場合があります。

### 7.2. 安全な不適合性を含む保管方法

**安全性に関する技術的対策** 特別な注意事項はない。

**保管条件** 乾燥した場所に密閉したオリジナルの容器で保管する。

### 7.3. 特定の最終用途

**具体的な用途** 該当なし。

# 安全データシート

製品名: マグナ777  
更新日: 2019-02-20  
製品番号:

ページ: 5/11  
最終改訂日: 2023-02-17  
SDS-ID: GB-EN/8.0

## 第8章: 露出管理 / 個人保護

### 8.1. 制御パラメーター

職業的な露出時間限界値:

CAS-No:	化学名:	As:	暴露限界値	タイプ:	注意事項:	参照:
-	鉄酸化物、ヒューム	Fe	5 mg/m <sup>3</sup>	TWA	-	EH40
-	-	-	10 mg/m <sup>3</sup>	STEL	15min	
-	ニッケルおよび水不溶性ニッケル無機化合物(ニッケルテトラカルボニルを除く)	Ni	0.5 mg/m <sup>3</sup>	TWA	Sk; Carc; Sen EH40	EH40
-	水溶性ニッケル無機化合物(ニッケルテトラカルボニルを除く)	Ni	0.1 mg/m <sup>3</sup>	TWA	Sk; Carc; Sen	EH40
1317-65-3	石灰石、吸入可能な粉塵	-	10 mg/m <sup>3</sup>	TWA	-	EH40
1317-65-3	石灰石、呼吸可能な粉塵	-	4 mg/m <sup>3</sup>	TWA	-	EH40
513-77-9	バリウム化合物、可溶性	Ba	0.5 mg/m <sup>3</sup>	TWA	-	EH40
7782-42-5	グラファイト、吸入可能な粉塵	-	10 mg/m <sup>3</sup>	TWA	-	EH40
7782-42-5	グラファイト、呼吸可能な粉塵	-	4 mg/m <sup>3</sup>	TWA	-	EH40
-	フッ化物(無機)	F	2.5 mg/m <sup>3</sup>	TWA	-	EH40

備考

EH40: EH40/2005.

Sk: 皮膚を通して吸収される可能性があります。

Carc: 発がん性および/または遺伝的損傷を引き起こす可能性があります。

Sen: 職業性喘息を引き起こす可能性があります。

### 8.2. 露出コントロール

#### 工学的対策

溶接時: 適切な換気を提供してください。職業暴露限度値を順守し、粉塵および煙の吸入リスクを最小限に抑えてください。

#### 個人用保護具

個人保護具は、GEN基準に従って選択し、個人保護具の供給業者と協議して決定してください。

溶接時: 目、皮膚、呼吸器系の保護のために特別な溶接用保護具を使用してください。

#### 衛生対策

取り扱い後は手を洗ってください。汚染された衣類を交換してください。

#### 環境暴露管理

利用可能な情報なし。

# 安全データシート

製品名: マグナ777  
更新日: 2019-02-20  
製品番号:

ページ: 6/11  
最終改訂日: 2023-02-17  
SDS-ID: GB-EN/8.0

## 第9章: 物理的及び化学的性質

### 9.1. 基本的な物理的・化学的特性に関する情報

外観	フラックスコーティングワイヤー
色	黒
臭気	無臭
臭気閾値	利用可能な情報なし。
pH	利用可能な情報なし。
融点/凝固点	利用可能な情報なし。
沸点	該当なし。
引火点	利用可能な情報なし。
蒸発率	該当なし。
可燃性(固体、ガス)	利用可能な情報なし。
爆発限界	利用可能な情報なし。
蒸気圧	該当なし。
蒸気密度	該当なし。
相対密度	利用可能な情報なし。
水への溶解性	不溶
配分係数 (n-オクタノール/ 水)	該当なし。
自己着火温度 (°C)	利用可能な情報なし。
分解温度 (°C)	利用可能な情報なし。
粘度	該当なし。
爆発特性	利用可能な情報なし。
酸化性	利用可能な情報なし。

### 9.2. その他の情報

その他のデータ	利用可能な情報なし。
---------	------------

# 安全データシート

製品名: マグナ777  
更新日: 2019-02-20  
製品番号:

ページ: 7/11  
最終改訂日: 2023-02-17  
SDS-ID: GB-EN/8.0

## 第10章 安定性及び反応性

### 10.1. 反応性

**反応性** 既知の反応性はありません。

### 10.2. 化学的安定性

**安定性** 通常の温度条件および推奨される使用下で安定。

### 10.3. 危険有害な反応の可能性

**危険な反応** 既知の危険な反応はありません。

### 10.4. 避けるべき条件

**避けるべき条件** 過度の熱。

### 10.5. 混触禁止物質

**混触禁止物質** 水、湿気。酸との接触を避ける。

### 10.6. 危険有害な分解生成物

**危険な分解生成物** 通常の条件下では生成物はありません。

## 第11章: 有害性情報

### 11.1. 毒性学的影響に関する情報

**急性毒性(経口)** 利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しません。

**急性毒性(経皮)** 利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しません。

**急性毒性(吸入)** 利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しません。

**皮膚腐食/刺激** 利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しません。

**重篤な眼の損傷/刺激** 利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しません。

**呼吸器または皮膚感作性** 皮膚にアレルギー反応を引き起こす可能性があります。

**生殖細胞変異原性** 利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しません。

**発がん性** 発がんの疑いがあります。

**生殖毒性** 利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しません。

**STOT - 単回暴露** 利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しません。

**STOT - 繰り返し暴露** 吸入すると、長期間または繰り返しの暴露によって臓器に損傷を与える可能性があります。

# 安全データシート

製品名: マグナ777  
更新日: 2019-02-20  
製品番号:

ページ: 8/11  
最終改訂日: 2023-02-17  
SDS-ID: GB-EN/8.0

<u>吸引性危険</u>	利用可能なデータに基づき、分類基準に該当しません。
<u>吸入による危険</u>	融点以上に加熱すると金属酸化物が放出され、吸入によって金属煙熱を引き起こす可能性があります。症状は震え、発熱、不快感、および筋肉痛です。長期間の吸入により健康に重大な損害を与える危険があります。
<u>皮膚接触</u>	敏感な個人においてアレルギー性皮膚障害を引き起こす可能性があります。
<u>眼接触</u>	粒子や煙が目に入った場合、不快感や刺激を引き起こす可能性があります。
<u>摂取</u>	製品の形態上、摂取する可能性は低いです。
<u>特定の効果</u>	ニッケルに対する感作のリスクがあります。長期間または繰り返しの溶接煙への曝露は、肺および呼吸器系に損傷を与える可能性があります。

## 11.2. その他の危険についての情報

<u>内分泌攪乱特性</u>	この製品は、内分泌攪乱特性を持つと特定された物質を含んでいません。
----------------	-----------------------------------

## 12章: 環境影響情報

### 12.1. 毒性

<u>生態毒性</u>	環境に対する危険有害性はない。
-------------	-----------------

### 12.2. 残留性および分解性

<u>分解性</u>	この製品は主に無機化合物から成り、生分解性はありません。製品の残りの成分も容易に生分解されるとは考えられません。
------------	--

### 12.3. 生体蓄積性

<u>生体蓄積性</u>	生物濃縮性に関するデータはない。
--------------	------------------

### 12.4. 土壌中での移動性

<u>移動性</u>	土壌中の移動性に関するデータはありません。
------------	-----------------------

### 12.5. PBT および vPvB 評価結果

<u>PBT/vPvB</u>	この製品はPBTまたはvPvB物質を含んでいません。
-----------------	----------------------------

### 12.6. 内分泌攪乱特性

<u>内分泌攪乱特性</u>	この製品は、内分泌攪乱特性を持つと特定された物質を含んでいません。
----------------	-----------------------------------

### 12.7. その他の有害事象

<u>その他の有害な効果</u>	既知の有害な効果はありません。
------------------	-----------------

# 安全データシート

製品名: マグナ777  
更新日: 2019-02-20  
製品番号:

ページ: 9/11  
最終改訂日: 2023-02-17  
SDS-ID: GB-EN/8.0

## 第13章: 廃棄上の注意

### 13.1. 廃棄物の処理方法

廃棄物および残留物は地方自治体の規制に従って処分してください。廃棄物は危険廃棄物として分類されます。

残渣からの廃棄物	EWC-コード: 12 01 13
汚染された包装	汚染された包装は残留物として処分してください。

## 第14章: 輸送情報

この製品は国際的な危険物の輸送規制 (IMDG、IATA、ADR/RID) の対象ではありません。

### 14.1. 国連番号

UN-No	-
-------	---

### 14.2. 国連輸送名

適切な輸送名	-
--------	---

### 14.3. 輸送の危険性クラス

クラス	-
-----	---

### 14.4. 包装グループ

PG	-
----	---

### 14.5. 環境に対する危険性

海洋汚染物質	-
--------	---

環境危険物質	-
--------	---

### 14.6. 利用者への特別な注意事項

特別な注意事項	該当なし
---------	------

### 14.7. MARPOL 附属書 II および IBC コードに従った積荷輸送

積荷で輸送	該当なし
-------	------

# 安全データシート

製品名: マグナ777  
更新日: 2019-02-20  
製品番号:

ページ: 10/11  
最終改訂日: 2023-02-17  
SDS-ID: GB-EN/8.0

## 第15章: 規制情報

### 15.1. 物質または混合物に特有の安全、健康、環境に関する規制/法律

#### 特別規定

一般的に、18歳未満の者はこの製品を使用することはできません。使用者は、適切な作業手順、製品の危険特性および必要な安全指示について十分に教育を受けなければなりません。

#### 国家規制

英国法定文書、2021 No. 904、消費者保護  
環境保護、健康と安全。REACHなど(改定) 2021年規則。  
欧州議会および欧州理事会の規則 (EC) No 1272/2008  
2008年12月16日物質および物質の分類、ラベル表示および包装に関する混合物、指令 67/548/EEC および 1999/45/EC の修正および廃止、および規則 (EC) No 1907/2006 を修正して改定。化学物質 (健康と安全) と遺伝子組み換え生物 (包含使用) (改正等) (EU離脱) 2019年規則 (SI 2019 No.720)、修正どおり。2002年健康に有害な物質の規制 (SI 2002 No.2677) に修正を加えたもの。  
EH40/2005、2005年職場暴露制限、改定あり。1999年労働安全衛生管理規則 (SI 1999 No.3242)、改定あり。2005年廃棄物リスト (イングランド) (修正) 規制 (SI 2005 No. 895)。

### 15.2. 化学物質安全性評価

#### CSA状況

化学安全評価は実施されていません。

## 第16章: その他の情報

制限に関する情報はセクション15を参照してください。

以下のセクションに修正または新しい記述が含まれています: 1, 2, 3, 4, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 15, 16

Magna Welding Alloys TW PP & F Korea LIMITED  
13<sup>th</sup> Fl., Unit B, PAX Tower ,  
609,Eonju-ro,Gangnam-Gu, Korea 06108  
TEL : +82-2-2088-3560 FAX :+82-2-513-3567  
Webサイト : [www.magnagroup.com](http://www.magnagroup.com)

Magna商標は、ITW Inc.の著作権正であり、ITW PP & F Korea Limitedのライセンスに基づき使用されています。

# 安全データシート

製品名: マグナ777  
更新日: 2019-02-20  
製品番号:

ページ: 11/11  
最終改訂日: 2023-02-17  
SDS-ID: GB-EN/8.0

## 安全データシートで使用されている略語と頭字語について

CSA = 化学安全評価  
PBT = Persistent, Bioaccumulative and Toxic (難分解性、生物蓄積性、毒性)  
vPvB = 非常に難分解性で非常に生物濃縮性が高い

## 追加情報

規則 (EC) No. 1272/2008 に基づく分類: 計算方法

## Hステートメントの文言

H302	飲み込むと有害です。
H317	皮膚にアレルギー反応を引き起こす可能性があります。
H351	発がんの疑いがあります。
H372a	吸入すると、長期間または繰り返しの暴露によって臓器に損傷を与える可能性があります。

このデータシートに記載されている情報は、当社の現在のデータを表しており、製品が所定の条件下で、パッケージおよび/または技術指導資料で指定された用途に従って使用される限り、信頼できるものです。本製品を他の製品と組み合わせて使用する場合、または他のプロセスと組み合わせて使用する場合は、使用者の責任で行ってください。

DHI - Environment and Toxicology, Agern Allé 5, DK-2970 Hørsholm, Denmarkで作成されました。  
[www.dhigroup.com](http://www.dhigroup.com)

## 第17章: 翻訳内容について

日本国内輸入元 株式会社エクシードによりITW PP & F Korea Limitedが発行する英文SDSを日本語に翻訳した正式なSDSです。